

感染症

県中地域感染症発生動向調査週報(2025年第25週)

(令和7年6月16日～令和7年6月22日)

令和7年6月26日

定点報告(上段:定点当り/下段:報告数)

区分	疾病名	2025年					2024年	2023年
		22週	23週	24週	25週	合計	合計	合計
定点報告	インフルエンザ	0.80 4	0.60 3	0.60 3	- 0	- 1,041	- 2,570	- 3,223
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	- 0	0.60 3	- 0	0.80 4	- 787	- 2,596	- 1,698
	RSウイルス感染症	0.33 1	0.33 1	0.67 2	- 0	- 31	- 104	- 110
	咽頭結膜熱	0.33 1	- 0	0.33 1	- 0	- 17	- 104	- 37
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.67 8	2.00 6	2.33 7	1.00 3	- 207	- 240	- 176
	感染性胃腸炎	3.33 10	5.33 16	7.33 22	6.00 18	- 460	- 696	- 1,023
	水痘	0.33 1	0.67 2	0.33 1	0.67 2	- 30	- 29	- 28
	手足口病	- 0	0.33 1	- 0	- 0	- 11	- 973	- 132
	伝染性紅斑	1.00 3	2.00 6	2.00 6	1.33 4	- 418	- 43	- 3
	突発性発しん	1.33 4	0.67 2	0.33 1	0.67 2	- 30	- 81	- 100
	ヘルパンギーナ	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 28	- 188
	流行性耳下腺炎	- 0	- 0	- 0	- 0	- 1	- 4	- 2
	急性出血性結膜炎	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 1
	流行性角結膜炎	- 0	1.00 1	- 0	- 0	- 6	- 6	- 9
	急性呼吸器感染症(ARI) (定点当り)	66.00	57.20	53.00	43.60			
全数報告	結核	0	0	0	0	3	8	2
	百日咳	3	6	9	12	53	5	4

出典: 福島県感染症発生動向調査週報(I DWR)より県中地域分を抜粋しています。

県中地域の流行状況

流行中

伝染性紅斑

流行注意

感染性胃腸炎、水痘(全国的に増加傾向)

【百日咳について】

今週は12件報告がありました。10代以下を中心に感染が続いています。百日咳菌に感染することによる、急性の気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、菌が付着して間もない手や物を介した接触感染です。約10日間の潜伏期間の後、かぜ症状で始まり、次第に特有の顔を真っ赤にしてコンコンと激しく咳き込み(スタッカート)、ヒューと音を立てて息を吸う発作(ウーブ)となります。学校保健安全法では、特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌薬療法が終了するまで出席停止とされています。学校や職場等での集団発生に注意が必要です。特に、乳幼児は重症化のおそれがありますので、定期予防接種が有効です。

基本的な感染対策をお願いします



手洗い + 手指消毒



場面に応じたマスクの着用
や咳エチケット



定期的な換気



体調不良時は
無理せず休む